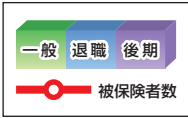
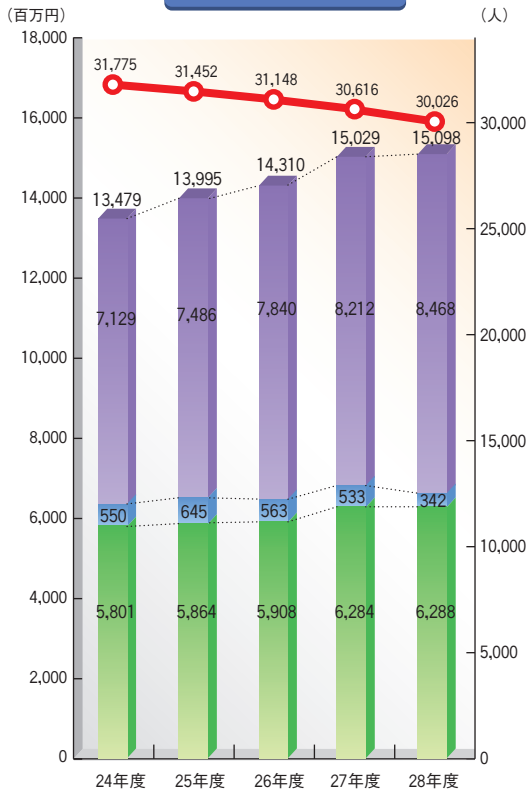


# 大田原市

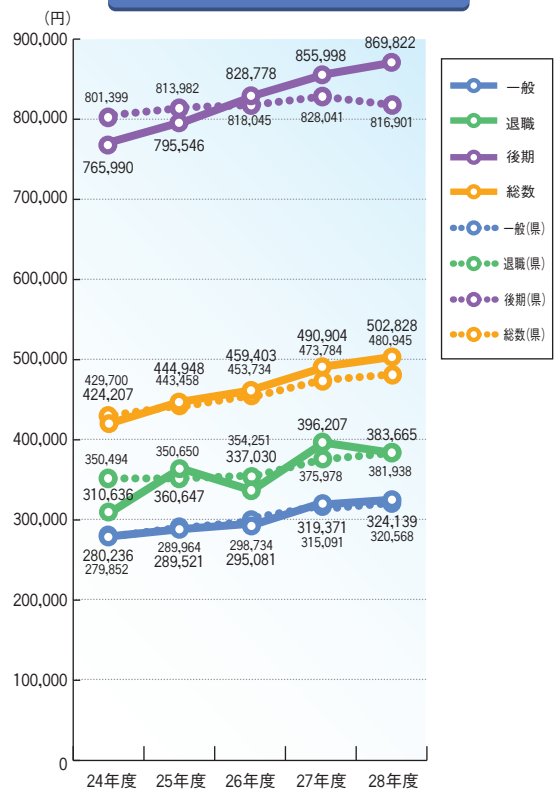
# 大田原市



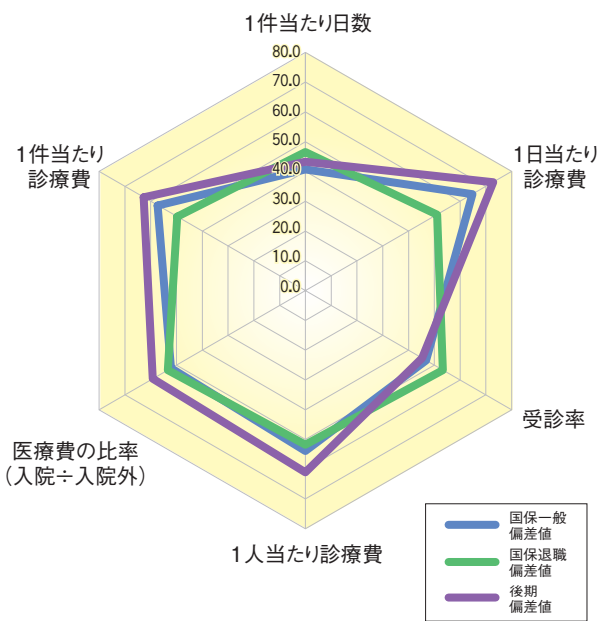
### 医療費の推移



### 1人当たり医療費の推移

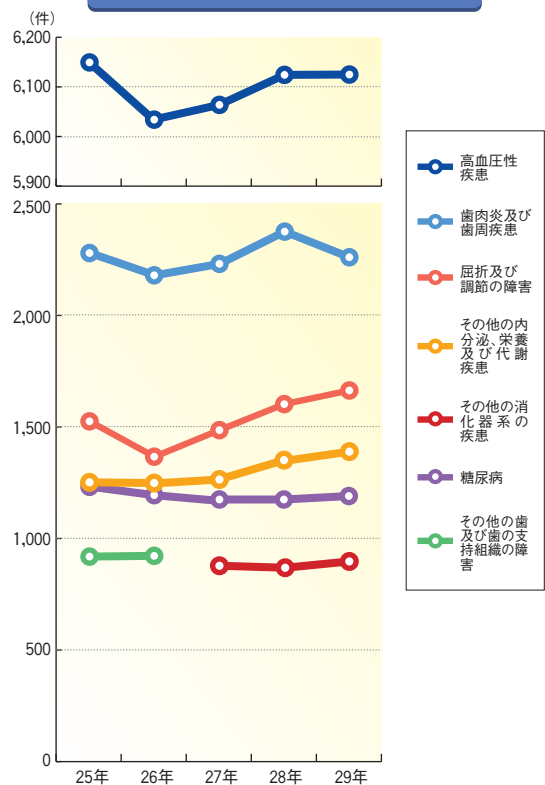


### 平成28年度 3要素と医療費諸費(県平均との比較)

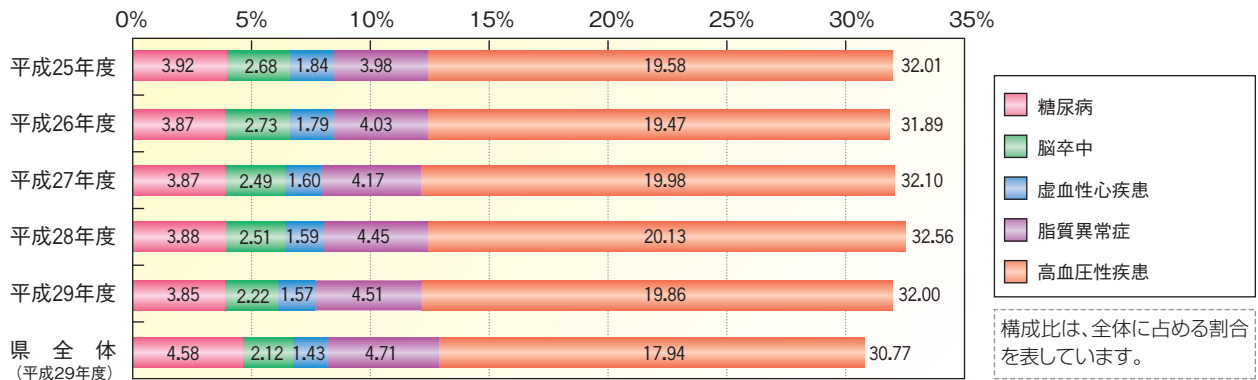


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

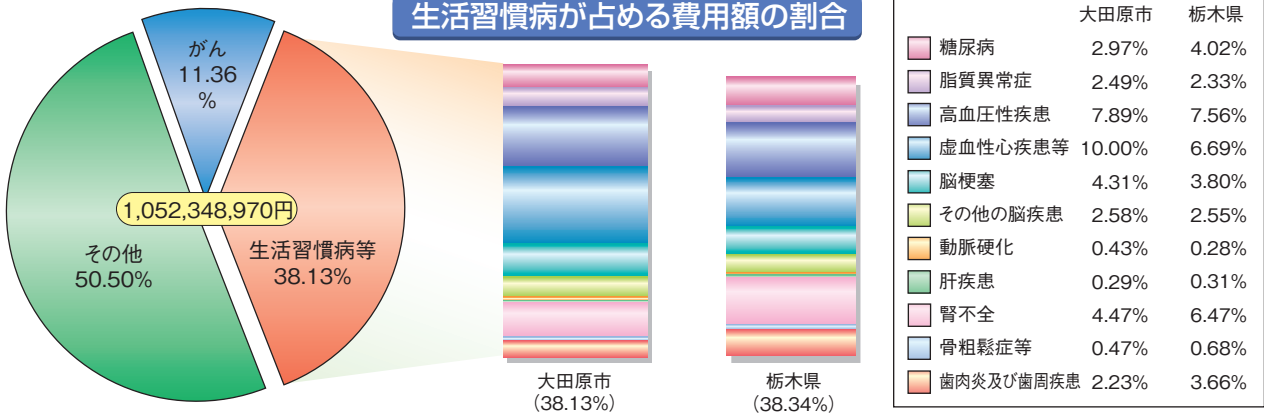
### 多受診疾病上位6位の推移



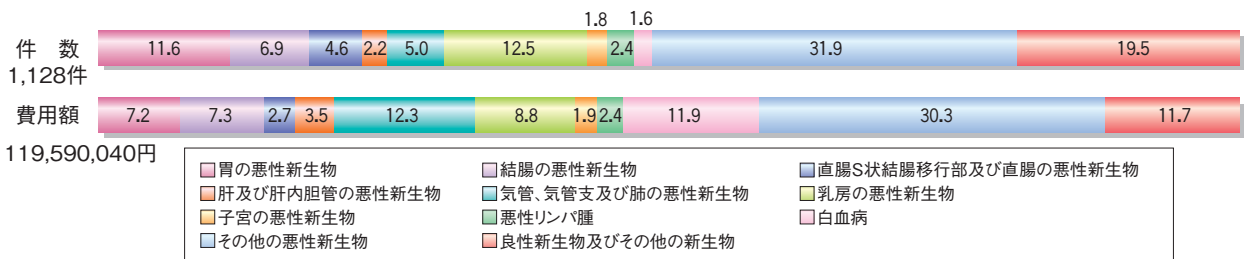
## 生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



## 生活習慣病が占める費用額の割合



## がんの件数・費用額割合(部位別)



## 大田原市の状況

### ★医療費の状況及び被保険者数

平成28年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般6,287,965千円(100.1%)、退職342,229千円(64.2%)、後期8,467,720千円(103.1%)で、全体では15,097,914千円(100.5%)と増加している。( )は前年度との比較。  
平成28年度平均被保険者数は30,026人で、内訳は一般19,399人、退職892人、後期9,735人である。前年度と比較すると全体で98.1%と減少している。

また、平成28年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は502,828円(11,924円増)、一般は324,139円(4,767円増)、退職は383,665円(12,542円減)、後期は869,822円(13,824円増)である。( )は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療費諸費(県平均との比較)をみると、1日当たり診療費、1人当たり診療費、医療費の比率においては、いずれの法別も県の値を上回る偏差値となっており、中でも後期の1日当たり診療費の値は県平均と比べて高い偏差値となっている。

### ★疾病の状況

平成29年5月診療分で件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位屈折及び調節の障害、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位糖尿病、6位その他の消化器系の疾患で、中でも3位の屈折及び調節の障害は増加傾向にあり、平成25年と比べ費用額では1.44倍となっている。

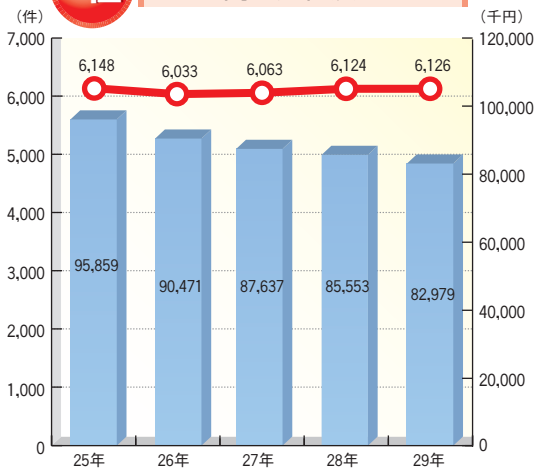
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、前年度と比較して、脂質異常症の構成比は増加したが5大生活習慣病全体の構成比は減少した。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成29年5月診療分の総費用額が1,052,348,970円で、がんが11.36%、生活習慣病等が38.13%を占めている(県全体 がん12.74%、生活習慣病等38.34%)。費用額の占める割合が高い疾病は、虚血性心疾患等10.00%、高血圧性疾患7.89%、腎不全4.47%となっている。

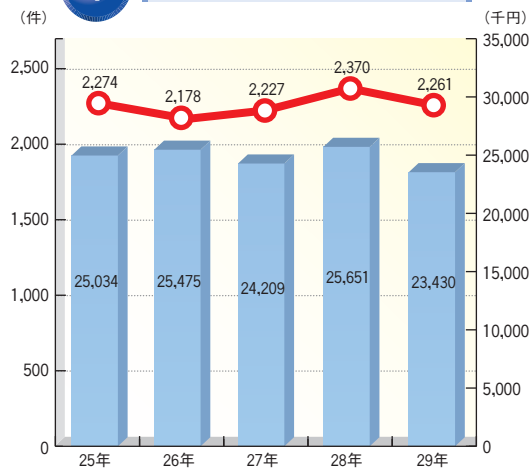
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、乳房の悪性新生物、費用額では、気管・気管支及び肺の悪性新生物、白血病が高い割合となっている。

# 多受診疾病 上位6 の年次推移

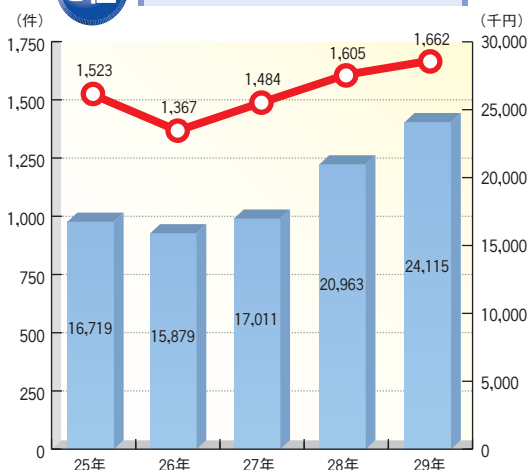
## 1位 高血圧性疾患



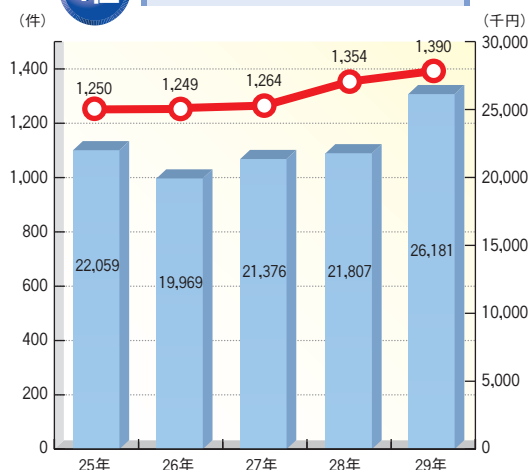
## 2位 歯肉炎及び歯周疾患



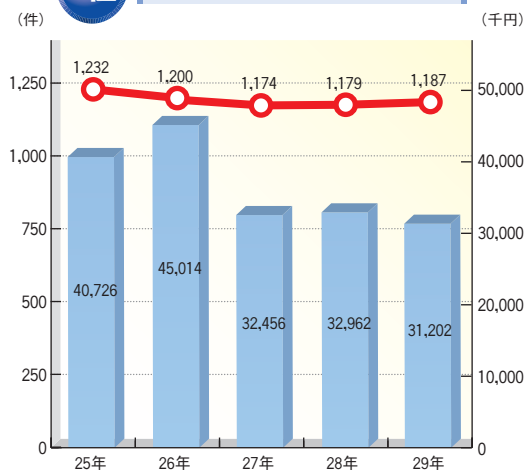
## 3位 屈折及び調節の障害



## 4位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



## 5位 糖尿病



## 6位 その他の消化器系の疾患

